

令和6年 10月31日

企業と地方公共団体とのマッチング会



琵琶湖に育まれる 漁業と農業が織りなす

琵琶湖システム

「世界農業遺産」プロジェクト

滋賀県 農政水産部 農政課

企画・世界農業遺産係 岡村貴司

Tel 077-528-3825

Mail shiga-giahs@pref.shiga.lg.jp



滋賀県・琵琶湖の概要

滋賀県

人口 (2024年9月1日現在)

約140.1万人

面積

4,017 Km²

平均寿命 (2023年)

82.73歳 (男性) ※全国1位

88.26歳 (女性) ※全国2位



滋賀県は耕地面積の9割以上が水田

水稻栽培が盛んな**米どころ!**

琵琶湖

日本最大の湖

面積: 約670 km²

日本唯一の古代湖

約440万年の歴史をもつ、世界でも有数の古い歴史を持つ湖

貯水量

約 275 億トン

近畿約1450万人への命の水を供給

世界農業遺産

「森・里・湖」に育まれる 漁業と農業が織りなす
琵琶湖システム



水田営農に支えられながら発展してきた伝統的漁業を核とした「琵琶湖と共生する農林水産業」を「森・里・湖(うみ)に育まれる 漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」と呼んでおり、令和4年7月18日に「世界農業遺産」に認定された。

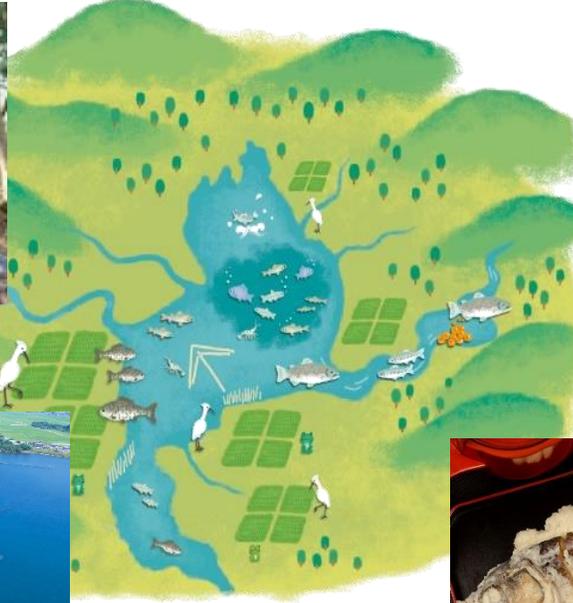
このシステムは1,000年以上にわたる歴史の中で育まれた自然と人の持続的な共生モデルといえるものであり、この伝統的なシステムを継承することは、当地域に住む私たちに課せられた「責務」であると考えている。

林業 水源林の保全

水源林の保全には、漁業者や地域住民も参画している。山に木を植えて育てることが洪水や渇水を防ぐことに役立っているほか、川に上って産卵する湖魚の繁殖環境の保全にもつながっている。



水源林保全活動



稚魚が泳ぐ 魚のゆりかご水田

農業 環境に配慮した農業

琵琶湖の水質や生態系を守るため、排水を管理し農薬や化学肥料を減らす「環境こだわり農業」やオーガニック農業、琵琶湖から田んぼに遡上して産卵する湖魚を支える「魚のゆりかご水田」などが営まれている。

漁業 伝統的な琵琶湖漁業

千年以上の歴史を持つエリ漁は、魚の習性を利用し、「つぼ」と呼ばれる部分で漁獲する。必要なサイズ・量だけを漁獲できる持続可能な漁法として、現代に受け継がれている。



琵琶湖の小型定置網「エリ」

食文化 伝統的な食文化とお祭り

「鮒ずし」に代表される湖魚をご飯に漬け込んで発酵させる保存食「なれずし」は、贈り物や祭礼のお供えにも使われてきた。こうした食文化や祭礼は、地域の絆の醸成にもつながっている。



ふなずし

琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業は、国連の定めた持続可能な開発目標 (SDGs) の17の目標の達成に寄与しており、特に「6 安全な水を世界に」、「14 水産資源の保全」、「15 陸域生態系の保全」、「17 パートナースhipで目標を到達しよう」などの達成にも貢献しています。また、琵琶湖版SDGsであるマザーレイクゴールズ (MLGs) にも、大いに貢献しています。





世界農業遺産「琵琶湖システム」を脅かす脅威

脅威1 湖魚の産卵・成育環境の変化



外来魚による食害

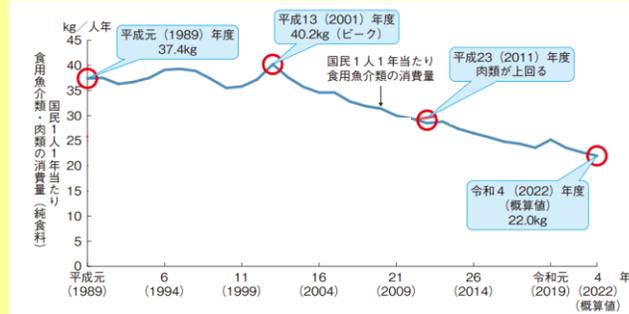


カワウによる食害
(水産庁提供)

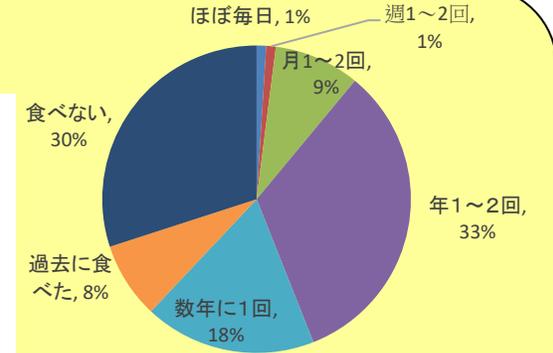


水草の異常繁茂

脅威3 食文化の衰退



魚介類の消費減少(水産白書)



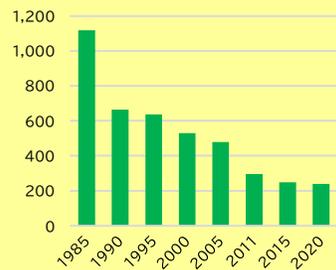
ふなずしを食べる頻度(滋賀県、2018)

脅威2 担い手の減少

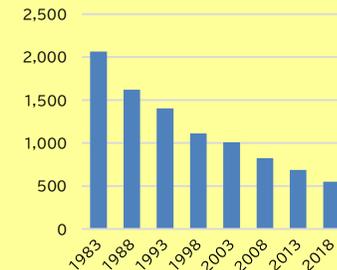
農家数



林業従事者数

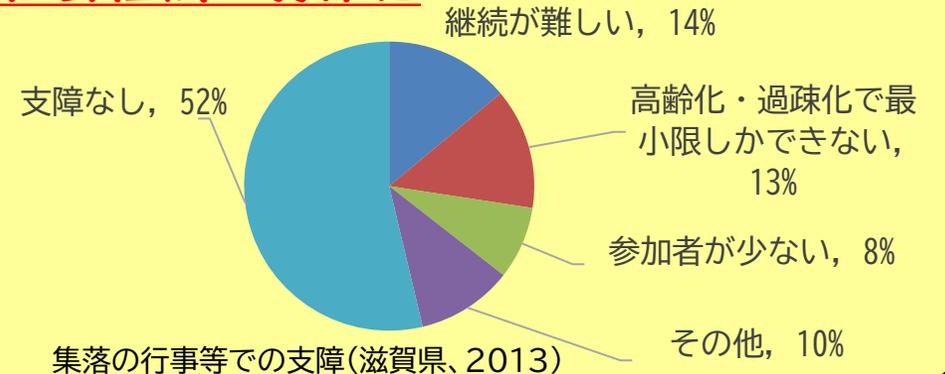


漁業就業者数



出展 農林業センサス(農林水産省)、滋賀県森林・林業統計要覧(滋賀県)

脅威4 社会組織の弱体化



集落の行事等での支障(滋賀県、2013)



世界農業遺産を守り、活かした取組の推進



「琵琶湖システム」を守る

「琵琶湖システム」を活かす



漁業担い手の確保と育成
琵琶湖システムの主要な取組である「琵琶湖漁業」の新たな担い手の確保、儲かる漁業へのチャレンジを支援

資源管理型漁業の推進、食害の防除
水産資源の持続可能性の向上のための漁業者と行政の共同管理、重要水産資源の放流、外来魚等の駆除

多様なニーズに応える流通改革
琵琶湖漁業の販売力強化を目指した湖魚の新たな集出荷体制の実践を支援



オーガニック・環境こだわり農業等の推進
環境に配慮した持続可能な水田農業の更なる推進

「魚のゆりかご水田」の魅力発信強化
生産者のPRスキルアップ研修の実施、SNSによるファンの拡大、積極的な情報配信

農業の担い手の確保・育成
女性農業者やオーガニック農業の人材育成のための短期的な実習等

湖魚の戦略的なPRと需要喚起の実践
琵琶湖八珍のストーリー性を活かした内容の情報発信の拡充と、消費を喚起するキャンペーンの実施

農からはじめる「食べる健康」推進
直売所等での品揃えの充実、飲食店等での県産野菜を活用したメニューフェアの開催

県産食材の消費拡大に向けた情報発信の強化
首都圏・京阪神の飲食店でのメニューフェア、SNSによる戦略的発信の展開、ホームページの発信力の強化

「びわ湖魚グルメ」の開発
世界農業遺産体感コンテンツツアーの造成、アグリツーリズムの推進
湖魚と県産農産物と使ったご当地グルメの開発、しがの農業や琵琶湖漁業、農山漁村の食や風景を体感できるコンテンツの創出、アグリツーリズムの推進

農山村の新生活様式サポート事業
農山村移住受入れ情報の発信、お試し移住機会の提供、ガイドブックの作成

しがのふるさと応援隊事業
次代を担う若者を対象に、シニア世代と見い出す「地域の宝」の活用に向けたワークショップや地域活動等の体験を通して農山村との絆を醸成し、息の長い関係人口を創出

しがのふるさと支え合いプロジェクト
企業や大学、NPO法人等の多様な主体と協働した活動を支援



「世界農業遺産」を次世代に繋ぐための学びの推進
学校等への出前講座、「世界農業遺産」学習教材の活用など



「琵琶湖システム」の発信機能強化
HPのさらなる活用、SNSによる魅力発信強化など





次世代を担う子どもたちへの継承

4 質の高い教育を
みんなに



うみのこ

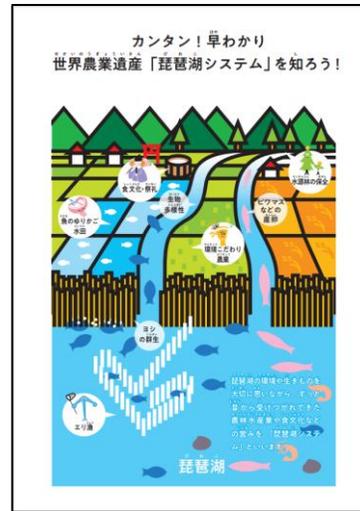
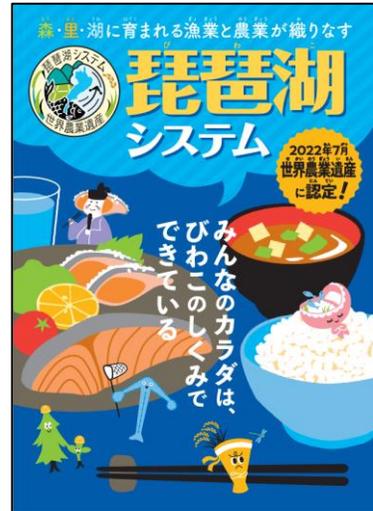


やまのこ

●滋賀県独自の体験学習

●琵琶湖システムと学校教育との連携

●出前講座なども実施



琵琶湖システムの学習教材



たんぼのこ



湖魚を用いた食文化の継承

「びわ湖魚グルメ」の開発

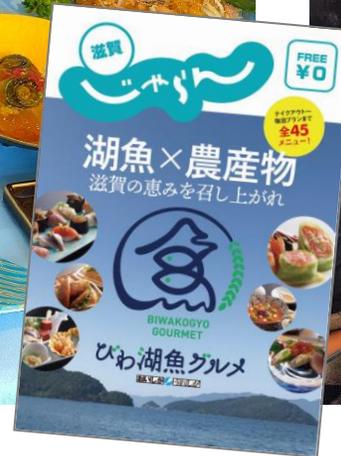
- 琵琶湖システムに関わる食材を、身近に味わってもらう機会の創出
- 生産者と飲食店等事業者のつながりを創出し、関係者の拡大を図る



飲食店等事業者が消費者に魅力を伝え、ファンを増やし、関係人口の増加を図る



開発された「びわ湖魚グルメ」



フリーペーパーでも紹介



生産者と飲食事業者等とのワークショップ



世界農業遺産を活用した地域の活性化



- 田植え・稲刈り体験、生き物観察会、漁業体験などを通じた**都市部との交流**
- アグリツーリズムの推進（教育旅行などの受け入れ、民間旅行会社によるツアー造成）



生き物観察会



明治大学(東京)からの受講→宿泊

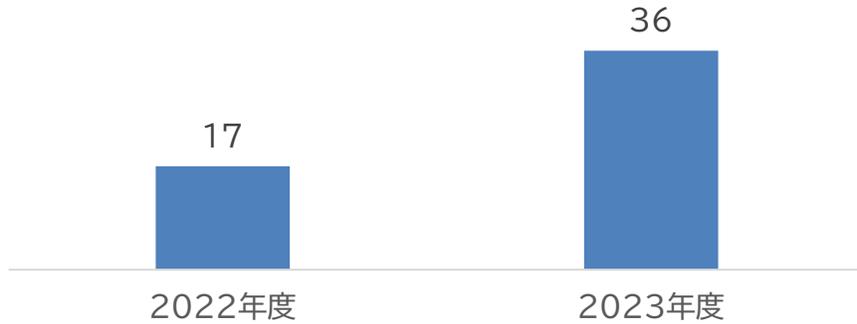


琵琶湖システム体感コンテンツの紹介
(じゃらんnetにて公開中)

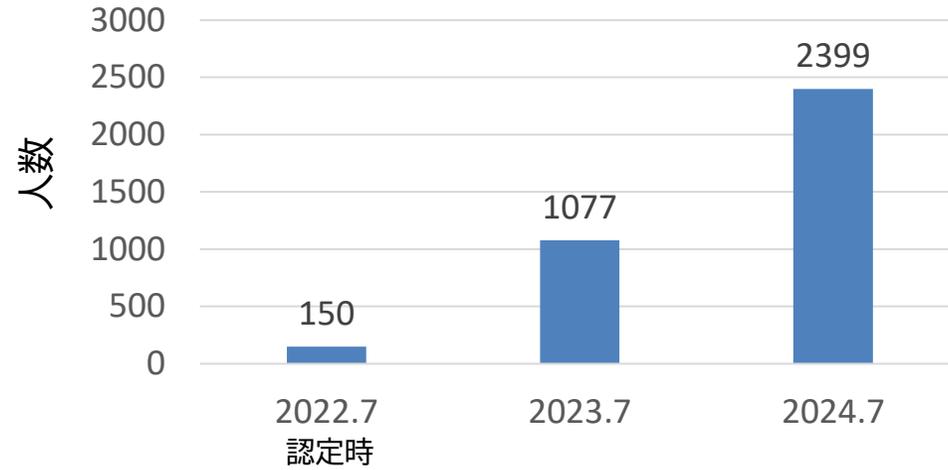


世界農業遺産認定 (PR) の効果

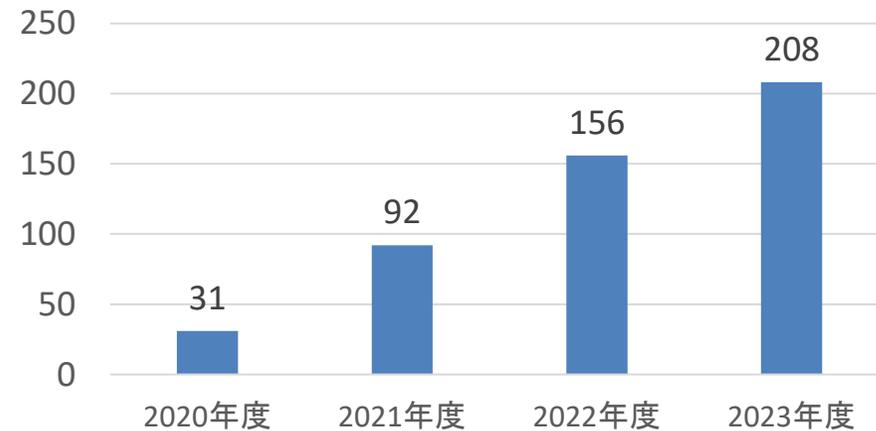
出前講座の回数



Instagramフォロワー数



ロゴマーク利用件数累計





琵琶湖システムへの企業・大学の関わり



琵琶湖システムを支えてくださる方々のご紹介

株式会社万代様

株式会社万代様におかれましては、滋賀県の世界農業遺産「琵琶湖システム」の取組にご賛同いただき、毎年御寄附を頂戴しております。頂いた御寄附は、「琵琶湖システム」から生み出された湖魚と農産物を活用した新ご当地グルメ「びわ湖魚グルメ」創出事業等に活用させていただきます。

・株式会社万代様のご紹介

株式会社万代は、1日平均約42万人、年間1億5千万人以上のお客様にお越しいただいている、関西圏を中心に食品スーパーマーケットを展開している企業です。



お客様の暮らしを「より豊かに」「より美しく」「より快適に」を合言葉に様々な改革に挑戦しています。万代グループの農業法人として、「滋賀県でどこよりも安心・安全でおいしい野菜・果物を生産してお客様に提供したい」との想いを込めて滋賀県野洲市に「グリーンエコスター」を2005年に設立、主にイチゴ・小松菜などの有機栽培を手掛けており、甘さ・うまみを克服とした独自ブランドは出荷が追い付かないほどの人気となっています。

そのグリーンエコスターでの栽培品を万代の各店舗を通じてお客様へ提供させていただいております。

企業版ふるさと納税による御協力
(HP等の媒体で紹介させていただきます)



関連商品の開発
による御協力



イベント参加(参加の呼びかけ)による御協力



資材や人員提供による御協力



ロゴマークの利用等による
啓発の御協力

- 琵琶湖と共生する農林水産業（琵琶湖システム）の次世代への継承
- 森・里・湖の貴重なつながりの保全
- 琵琶湖システムが育む食文化の継承
- 琵琶湖システムが育ててきたランドスケープ・シースケープ（原風景）の保全

取組への支援によるイメージ向上のほか

○食・水源を支える産業の振興

○持続可能な社会・循環型社会の推進

○訪れていただくの皆さんの憩いの場の保全

ふるさと納税のほか、来ていただく、関わっていただく、
交流していただくことも大きな支援となります

